



図書館から

新しい本が入りました

ポニーテール

重松 清／著

小説

これはすべて、仲直りの物語。両親の再婚で「新米きょうだい」になった二人の少女が家族になるまでのお話。



ゴン太ごめんね、もう大丈夫だよ！

山路 徹／著

一般書

3月16日から2か月にわたって、福島第一原発20キロ圏内に取り残された「小さな命」を救い続けたボランティアたちの活動記録。



オトタケ先生の3つの授業

乙武 洋匡／著

児童書

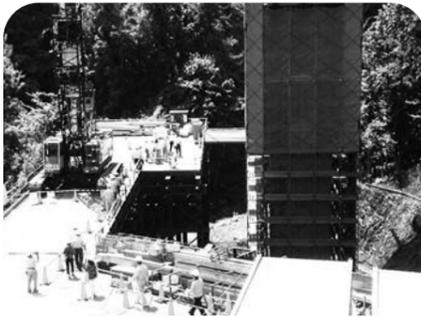
昨年3月までの3年間、東京都内の小学校で教壇に立っていた著者が、教室で実際に行った授業をもとにした読み物です。



猛暑でも、おじいちゃん、おばあちゃん元気いっぱい競技
第34回高齢者スポーツ大会が8月5日、町スポーツセンターで、18の単位老人クラブから265人が参加して開かれました。賞品と交換できる札を取って走る「運命競走」など全部で8競技が行われました。この日は、天候も良く、気温が上がり会場内も暑くなりましたが、参加者は、元気いっぱい競技を続け、拍手と歓声に包まれていました。

横断自動車道の工事現場を見学

「くんねっぶ未来をつくる道の会」主催の北海道横断自動車道工事現場見学会が8月9日に行われました。町内で施工されている開盛橋の工事現場では、高さ30mの橋脚の仮設足場に登り、施工途中の橋の上を歩きました。北見道路トンネルでは、施工方法などの説明を受けながらトンネルの中を見学するなど、参加した30人以上の町民の方は、写真を撮ったり、質問するなど真剣に見学していました。



五十嵐建設 訓小の鉄棒などを補修
地域貢献
網走開発建設部の「北海道横断自動車道訓子府町第1ポンケットナイ川橋下部工事」を施工している五十嵐建設(北見市)の地域貢献活動が、7月25日から8月1日まで行われました。訓子府小学校の鉄棒24基とサッカーゴール4基の補修、塗装を行っていただき、いずれも見違えるように輝きをとり戻しました。同社では「訓子府町内で施工しているのが、町民の方に貢献をしたかった。これらの遊具で多くの子供たちが遊んでくれるのを楽しみにしている」と話していました。



訓子府町へようこそ

姉妹町・津野町から交換留学生



高知県の農業高校生が今年も8月19日来町しました。春野高校と幡多農業高校の男女4人で、26日まで町内の酪農家、畑作農家で大規模農業を実際に体験しました。4人ともに広い畑などに驚きながら、実習に励んでいました。

農業高校生も来町 大規模農業を体験

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から4人の交換留学生が8月18日来町しました。葉山小学校と精華小学校、中央小学校の4人と津野町教育委員会の山崎哲人教育次長補佐が訪れました。公民館で歓迎セレモニーが行われ、交換留学生は元気いっぱい自己紹介をしました。25日朝までホームステイしながら、訓子府小学校、居武士小学校に通学、町内の児童と交流を深めながら授業を受けていました。



小学生4人がホームステイし通学

訓中3年修学旅行

今年も観光大使がんばりました



町は、今年も訓子府中学校の3年生37人を「訓子府町ふるさと特別大使」「訓子府町ふるさとPR委員」として8月19日に任命しました。訓中が毎年修学旅行で実施している地域学習「訓子府町PR体験」を後押しするものです。大使には須河杏奈さん(12ページいきいきで紹介)が就き、他の36人とともに8月28日にJR札幌駅で、手作りのパンフレットや訓子府農産物の配布、くんねっぶ音頭の踊りを披露し、訓子府町をPRしました。

豊年盆踊りが13日、仲町公共駐車場、日出盆踊りが8月16日、日ノ出地区ふれあいセンター(14日予定を順延し屋内)で、それぞれ行われました。太鼓の音が響き渡る中、子どもたちは浴衣姿で一生懸命に踊り、大人の仮装盆踊りでは、手作りの衣装で踊りが披露され、大勢の見物客は、訓子府の短い夏を満喫していました。

盆踊り



豊年盆踊り



日出盆踊り

仮装などで 行く夏を惜しむ